

# 莊村清志 [ギター]

デビュー50周年! ギターの未来を切り拓く伝説の巨匠!

2019 **12月13日(金)**

13:30開場 14:00開演 (休憩なし・70分)

新所沢東まちづくりセンター 講堂  
(所沢市美原町1-2922-16)

◆タレガ:アルハンブラの思い出

Tárrega : Recuerdos de la Alhambra

◆スペイン民謡:愛のロマンス

(映画「禁じられた遊び」より)

anonymous : Romance de Amor

◆ビートルズ(武満徹 編):イエスタデイ

(「ギターのための12の歌」より)

Lennon-McCartney (arr. by Takemitsu) :

Yesterday, from 12 songs for Guitar

ほか

〈入場料〉

**2,000円 [全席自由]**

9/17(火)  
発売開始

チケットは「新所沢東まちづくりセンター」窓口で販売します。

ミュージズチケットカウンターでのチケットの取り扱い(販売)はございません。

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※都合により曲目の一部が変更になる場合がございます。

※駐車台数に限りがあります。公共交通機関をご利用ください。

※開演するとお席にお着きいただけません。時間に余裕をもってご来場ください。

〈主催・問合せ〉

■所沢市新所沢東まちづくりセンター TEL : 04-2943-0909

■公益財団法人所沢市文化振興事業団 TEL : 04-2998-6500

〈取り扱い時間〉 9:00~17:00

(月曜・祝日・10/6・10/27を除く)



# Kiyoshi Shomura Guitar

20世紀最大のギタリスト・イエペスに学び、作曲家の武満徹からも絶大な信頼を得た日本ギター界の至宝・荘村清志が新所沢東まちづくりセンターに登場する！

情熱と哀愁が交錯するスペインの名曲はもとより、近現代の作品にも限らない愛情を注ぎ、数多くの優れた作品を初演するなど、50年にわたりギター音楽を牽引し続けた稀代の名手が紡ぐ繊細な響きをご堪能ください！

50年にわたり世界を魅了する  
名手が紡ぐ珠玉の名品！

作曲家・武満徹をも魅了した名手が登場！

## 荘村清志

[ギター]

1969年の日本デビュー以来、半世紀にわたり国内外の聴衆を魅了し続ける伝説的なギター奏者。

近年も4年にわたる「荘村清志スペシャル・プロジェクト」で、さだまさし、coba、古澤巖、錦織健などジャンルを超えたアーティストと共演するなど、ギターの可能性を追求し続けている。

9歳でギターを始める。1963年に来日した巨匠ナルシソ・イエペスに認められ、スペインに渡りイエペスに師事。1967年イタリア各地で18回、翌年にはミラノなど22都市でリサイタルを開催し絶賛を浴びた。1969年の日本デビュー・リサイタルでは「テクニック、音楽性ともに第一人者」と評され、1971年にはイタリアの世界青少年協会国際フェスティバルに参加、この成功により北米で28回にのぼる公演を成功させ国際的な評価を確立した。

1974年NHK「ギターを弾こう」に講師として出演し、全国にその名と実力が知られるようになった。1977年と1980年には再びスペインに渡り、イエペスのもとでさらに研鑽を積み、ヨーロッパ各地でコンサート活動を行った。以降、国内外の主要オーケストラとの共演やリサイタル、室内楽など、活発な演奏活動を繰り返している。

2007年にはNHK「趣味悠々」に講師として登場し、改めて第一人者としての存在を強く印象づけた。2008年ミラノ弦楽合奏団の日本ツアーにソリストとして参加、また、スペインのビルバオ交響楽団の定期演奏会に出演し、「アランフェス協奏曲」のCDをリリース。さらに同楽団との日本ツアーでも共演して絶賛を浴びた。

現代作品を意欲的に演奏するだけでなく、日本人作曲家に多数の作品を委嘱、初演するなど、ギターのレパートリー拡大にも計り知れない貢献をしている。特に武満徹には1974年に「フォリオス」、1993年に「エキノクス」を委嘱、1977年には荘村のために編曲された「ギターのための12の歌」を初演・録音、1996年には「森のなかで」を全曲初演している。2016年は武満徹没後20年に際し、武満徹のギター曲を各地で演奏し好評を得た。現在、東京音楽大学客員教授。

所沢ミュージズには、2017年に東京音楽大学の精鋭たちと共演した公演に出演し、味わい深い演奏で絶賛を博した。